

[成果情報名] 加温施設及び露地栽培に適したブルーベリー品種の選抜

[要 約] 加温施設栽培で早期から収穫を向上させるためには収穫日が早く収量の安定した「ミスティー」が適しており、「ブライトウェル」は樹盛が強く多収である。

[キーワード] ブルーベリー、加温施設栽培、早期出荷

[担 当] 静岡農林技研・果樹セ・落葉果樹科

[連絡先] 電話 053-428-3141、電子メール kajyu-rakuyo@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 果樹

[分類] 技術・参考

[背景・ねらい]

現在、静岡県内ではハウスミカンの転換作物として露地ミカンとの複合栽培が可能なブルーベリーの栽培が導入されている。しかし、県内に導入された「ミスティー」「オニール」「ブライトウェル」各品種の生態及び特性については十分には明らかになっていない。そこで、加温施設栽培及び露地栽培に適する品種を選抜するため各品種の収量、果実品質等の特性を調査し、各作型における適性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 樹高、樹幅は加温施設栽培、露地栽培ともに「ブライトウェル」が大きく、「オニール」が小さい。1 樹当たりの収量は加温施設栽培、露地栽培ともに「ブライトウェル」、「ミスティー」、「オニール」の順に多い（表1）。
- 2 各品種の収穫時期は、加温施設栽培、露地栽培とも「ミスティー」、「オニール」が「ブライトウェル」と比べて約1ヶ月早い（表2）。
- 3 加温施設栽培では、露地栽培に比べ全ての品種で開花盛日が約1ヶ月早くなるが、収穫盛日は加温施設栽培では成熟日数が遅延するため、大きな差はみられない。これは加温施設栽培では収穫期間が長くなるためであるが、収穫期間が比較的集中している「ミスティー」では成熟日数の差が少なく、加温施設栽培の収穫盛日は「オニール」より明らかに早くなる（表2、図1）。
- 4 果実品質では、糖度は「ブライトウェル」で高く、「オニール」が低い。「ミスティー」は酸が高く、全体的な食味としては優れる。果実重は「ブライトウェル」で他の品種に比べて大きい。これらの果実品質に加温施設栽培と露地栽培との違いは各品種ともみられないが、傷果率は全ての品種で加温施設栽培が露地栽培に比べ明らかに低くなる（表3）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 加温温室栽培では結実を促進し、生産を安定させるために受粉能力の優れるクロマルハナバチを導入する。
- 2 データは浜松市北区都田町の60ℓポット4年生養液栽培を行っている現地での調査結果である。
- 3 加温施設栽培の加温開始時期は1月上旬、最低気温は10℃以上で管理を行った。
- 4 供試品種の「ミスティー」、「オニール」はサザンハイブッシュ系品種、「ブライトウェル」はラビットアイ系品種である。

[具体的データ]

表 1 ブルーベリー 3 品種の加温施設栽培及び露地栽培における生育と収量

品種	生育				収量 (kg/樹)	
	樹高 (cm) ^z		樹幅 (cm) ^z		加温施設	露地
	加温施設	露地	加温施設	露地		
ミスティー	134	143	103	123	2.0	2.0
オニール	115	96	116	113	0.6	1.3
ブライトウェル	162	143	172	161	3.5	2.9

^z 調査日：2010年3月16日 ※表中の数字は2008年、2009年及び2010年の平均値である。
 調査樹は2006年12月定植。「ミスティー」「オニール」：サザンハイブッシュ系品種
 「ブライトウェル」：ラビットアイ系品種

表 2 ブルーベリー 3 品種の加温施設栽培及び露地栽培における開花期と収穫期

品種	開花盛日 ^z		収穫始日 ^y		収穫盛日 ^x		成熟日数 (収穫盛日-開花盛日)	
	加温施設	露地	加温施設	露地	加温施設	露地	加温施設	露地
ミスティー	3月8日	4月6日	5月2日	6月4日	6月2日	6月29日	85	84
オニール	3月8日	4月2日	5月12日	5月30日	6月7日	6月19日	91	78
ブライトウェル	3月13日	4月14日	6月5日	6月30日	6月26日	7月8日	105	84

^z 8割の花が褐変または落下した日 ^y 全収量の2割を収穫した日、^x 全収量の8割を収穫した日。 ※表中の数字は2008年、2009年及び2010年の平均値である。

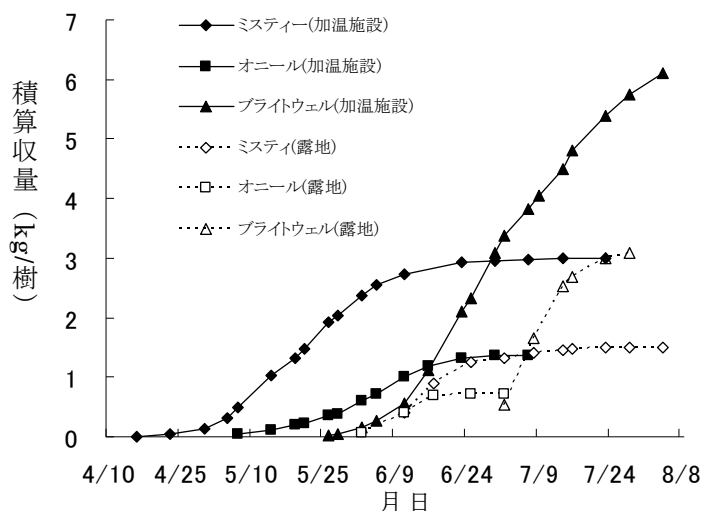


図 1 加温施設及び露地栽培における各品種の収量推移 (2009)

表 3 ブルーベリー 3 品種の加温施設栽培及び露地栽培における品質

品種	糖 (Brix%)		酸 (%)		果実重 (g)		傷果率 (%)	
	加温施設	露地	加温施設	露地	加温施設	露地	加温施設	露地
ミスティー	12.7	12.7	0.57	0.51	1.5	1.5	2.5	12.1
オニール	11.8	11.9	0.36	0.36	1.4	1.7	8.8	20.1
ブライトウェル	13.5	13.7	0.35	0.36	1.8	2.1	2.1	7.0

※表中の数字は2008年、2009年及び2010年の平均値である。

[その他]

研究課題名：新しい静岡適応型果樹品種の選抜

予算区分：県単

研究期間：2008～2010年度

研究担当者：神谷健太、浜部直哉